

科目区分	教養科目	授業科目名	デモクラシーと現代史			科目コード	24S012	担当者	船勢 肇			担当形態	単独
対象学科・コース	生活創造学科 栄養士コース	配当年次	2年次	開講学期	前期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件			
授業形態	講義	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	
実務の経験を有する教員担当科目			実務の経験内容及び科目との関連									科目に含めることが必要な事項	

授業の主題	デモクラシーとは、すばらしいものといわれながら、幻滅されることもしばしばで、好むと好まざるとに関わらず逃れられないものです。こうした悩ましいデモクラシーの特質を理解し、社会の未来に向けて展望を開く材料をいくらかでも提供することを目的とします。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	授業の内容を確認できるプリントを配布し、質問も記入する欄を設けます。
授業の方法	高校レベルの基礎的な歴史の知識を抑えながら、「ポピュリズム」「戦争」「新自由主義」といった主題を扱います。 映像資料を多く用いて、適宜アクティブラーニングをおこないます。	アクティブ・ラーニングの実施方法	グループディスカッションや、記述をおこないます。

回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	なぜ国家が生まれたのか 資本主義と近代国家の成立	プリントをみながら、小レポートを書く。	
第2回	戦争と欲望 なぜ戦争が起こったのか	講義と映像を振り返りながら、内容を確認する。	
第3回	ファシズム 熱狂した大衆	講義と映像を振り返りながら、内容を確認する。	
第4回	「無責任の体系」 近代日本の特質	講義と映像を振り返りながら、内容を確認する。	
第5回	第2次世界大戦を知る	講義と映像を振り返りながら、内容を確認する。	
第6回	資本主義とマルクス主義 小さな政府と大きな政府	事前に紹介した基本的な用語を調べる。	
第7回	ポピュリズムと新自由主義	事前に紹介した基本的な用語を調べる。	
第8回	まとめ	これまでの内容を振り返る	
		事前・事後 学修時間 (分／授業1回)	180分／授業1回

教科書 [書名／著者名／出版社]	教科書なし	受講生へのメッセージ	大きな俯瞰的な視点から自身の位置や役割を考えてみましょう。
参考書 [書名／著者名／出版社]	なし		

評価基準																		
	学修成果の大分類	学修成果の中分類 [10の力]	配点比率 （学修成果の％）	評価方法の配点比率（％）						学修成果の小分類			尺度					
				定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法／評価指標	レベル5 （S：100～90％）	レベル4 （A：89～80％）	レベル3 （B：79～70％）	レベル2 （C：69～60％）	レベル1 （F：59％以下）	
観 点	尽 心	① 学習意欲																
		② 規律性																
	創 造	知識・技能	③ 知識	50			50			現代社会を形成する基本的な構成要素を理解し、説明することが出来る。	基礎的・専門的知識	小レポート	授業内容について、抽象的な概念を、極めて正確に理解し、説明できる。	授業内容について、抽象的な概念を、かなり正確に理解し、説明できる。	授業内容について、抽象的な概念を、正確に理解し、説明できる。	授業内容について、抽象的な概念を、やや正確に理解し、説明できる。	授業内容について、抽象的な概念を、正確に理解できず、説明できない。	
			④ 技能															
		思考・判断	⑤ 情報活用能力															
			⑥ 課題解決力	50			50			歴史的な現象が現代につながっていることを理解し、可能性を模索することが出来る。	論理的思考力	小レポート	歴史的な現象を、現代のものとして非常に良く認識し、模索しようとしている。	歴史的な現象を、現代のものとして良く認識し、模索しようとしている。	歴史的な現象を、現代のものとして認識し、模索しようとしている。	歴史的な現象を、現代のものとしてやや認識し、模索しようとしている。	歴史的な現象を、現代のものとして認識できず、模索しようしていない。	
		表 現	⑦ 言語活用能力															
			⑧ コミュニケーション力															
	実 践	行動・応用	⑨ 主体性															
			⑩ 協働性															
合計			100			100												